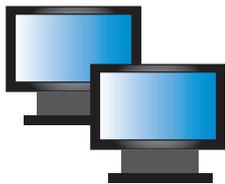


マルチディスプレイユーティリティ

ユーザズマニュアル

2010年1月 第2.0版



ラトックシステム株式会社
RATOC Systems, Inc.

1 動作環境

- ◆ 対応OS : Windows 7/Vista/XP SP2以降
※Windows 7 Starterでは使用できません。
※Windows XPの64ビット版には対応していません。
- ◆ PC環境 : マルチディスプレイ環境
※他社製USBディスプレイアダプタには対応していません。
(弊社製USBディスプレイアダプタREX-USBDVIシリーズは対応しています)

2 ユーティリティのインストール

※本マニュアルの説明画像はWindows XPの場合です。
※インストール前にウイルスチェックのソフトウェアは外してください。
セキュリティレベルが高い場合、インストールできない場合があります。

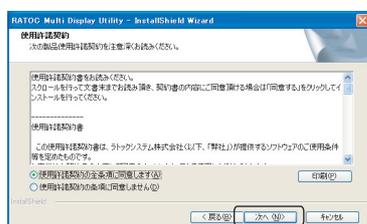
1. Administrator(管理者)権限でログインしてください。

2. ダウンロード、もしくはCD-ROM内の
“SetupMultiDisplayUtility.exe”を起動してください。

3. “RATOC Multi Display Utility
セットアップへようこそ”画面が
表示されます。
【次へ】をクリックしてください。



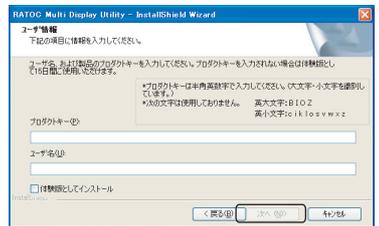
4. ユーティリティのインストール
が始まります。使用許諾契約が表示
されますので、お読みいただき
“使用許諾契約の全条項に同意し
ます”を選択し、【次へ】をクリック
してください。



5. “ユーザ情報”画面が表示されます。

＜購入された方＞
プロダクトキーとユーザ名を入力し、【次へ】をクリックしてください。

＜体験版を利用する方＞
ユーザ名を入力し、“体験版としてインストール”にチェックをいれ、【次へ】をクリックしてください。
右のプロダクトキー購入案内画面が表示されます。【OK】をクリックしてください。



※必要項目を入力しないと、【次へ】をクリックできません。



6. 【次へ】をクリックしてください。



インストール先を変更したい場合は【変更】をクリックして任意のフォルダを選択してください。



7. ユーティリティのインストールは完了です。設定を有効にするために、“はい、今すぐコンピュータを再起動します。”を選択し【完了】をクリックしてください。



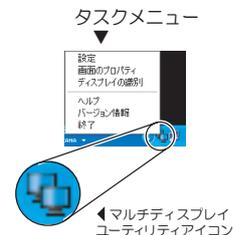
3 ユーティリティの機能と使い方

本ユーティリティは、用途に応じて設定することで、マルチディスプレイ環境をより快適にご使用いただけます。

3-1. 設定画面を開く

本ユーティリティの起動中は、タスクバーに右記のアイコンが表示されます。アイコンを右クリックすると、タスクメニューが表示され、各種設定・操作ができます。

※体験版ではタスクメニューの“終了”の下に“プロダクトキーの入力”が表示されています。詳しくは、**2**【体験版を製品版として使用するには】を参照ください。



- 【マルチディスプレイユーティリティ】は常駐ソフトです。
- 設定後にパソコンの再起動は必要ありません。

詳しい使用方法は、タスクメニュー内の“ヘルプ”を参照してください。

3-2. マルチディスプレイユーティリティの設定と使い方

1 【設定】の設定

タスクメニューから【設定】を選択し【設定】タブをクリックします。



●表示モード(拡張/ミラー)の切り替え、ディスプレイの回転を設定したい

・Windows 7の場合

OS標準で、表示モードの切り替えやディスプレイの回転を設定できます。
【ディスプレイ表示の変更】をクリックするとWindows 7の“ディスプレイ表示の変更”画面が表示されますので、設定をおこなってください。

※設定方法はWindows 7のヘルプを参照してください。



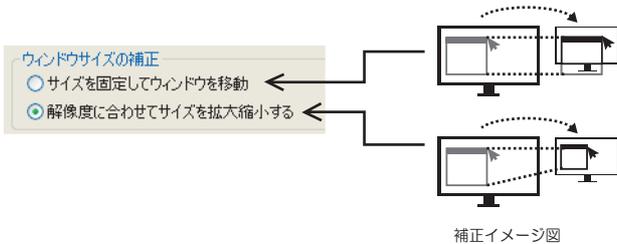
・Windows Vista/XPの場合

表示モード(拡張/ミラー)と回転機能は、使用できません。
弊社製 REX-USB-DVIシリーズ使用時のみ有効となる機能です。



●増設ディスプレイ側のウィンドウサイズを調整したい

異なる解像度のディスプレイ間で、ウィンドウサイズの補正が可能です。
※マウスによるドラッグ移動の場合、ウィンドウサイズは拡大縮小されません。



補正イメージ図

●マウスポインタの位置がわからなくなったら

①“ユーティリティの動作”の“Ctrlキーでマウスポインタの位置を確認する”にチェックが入っていることを確認してください。

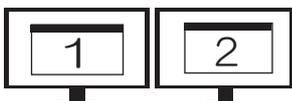


②[Ctrl]キーを押すと、マウスポインタの位置が確認可能です。



●ディスプレイ番号を確認したい

【ディスプレイの識別】をクリックすると、画面内に大きく数字が表示されます。



2 【壁紙】の設定

タスクメニューから【設定】を選択し【壁紙】タブをクリックします。



ディスプレイ:1680×1050
に対し、4:3の画像を設定した
場合です。

●ディスプレイごとに異なる壁紙を設定するには

①“ディスプレイ”で設定するディスプレイを選択します。

②“壁紙を指定する”にチェックを入れ、ファイルより参照し、壁紙を選択します。

※動画は壁紙に設定できません。

③壁紙のスタイルを選択、または壁紙を設定しない場合は背景色を選択します。
【比率を保ち最大化】を選ぶと指定した壁紙の縦、横の比率を変えずに表示します。

④設定した内容を反映するには【適用】をクリック、確認後【OK】をクリックしてください。

3 【ホットキー】の設定

タスクメニューから【設定】を選択し【ホットキー】タブをクリックします。



●ホットキーでマウスポインタを他の指定ディスプレイへ移動

Ctrl + Shift + [ディスプレイ番号]

Ctrl + Shift + [→(または)←]



●ホットキーでウィンドウを他の指定ディスプレイへ移動

Alt + Shift + [ディスプレイ番号]

Alt + Shift + [→(または)←]



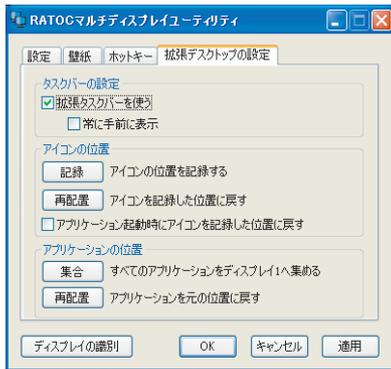
●その他のホットキーは、“ホットキーの一覧”をご覧ください。



ホットキー(ショートカットキー)は設定を変更することができます。
設定方法について、詳しくはタスクメニュー内の“ヘルプ”を参照してください。

4 【拡張デスクトップ】の設定

タスクメニューから【設定】を選択し【拡張デスクトップの設定】タブをクリックします。



● 増設モニターにもタスクバーを表示するには

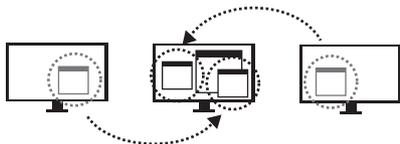
- ① “拡張タスクバーを使う”にチェックをいれます。
※Windows標準のタスクバー設定は反映されません。
- ② “常に手前に表示”にチェックを入れると拡張ディスプレイでウィンドウを最大化した場合など、タスクバーが常に前に表示されます。

● 配置したアイコンを記録するには

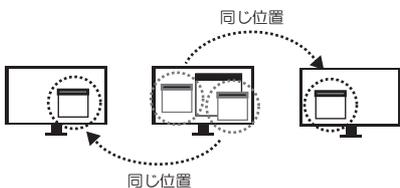
- ① 【記録】をクリックすると今配置されているアイコンの位置を記録します。
- ② 【再配置】をクリックすると、アイコンを記録した位置に戻せます。
※【再配置】ボタンは【記録】実行後に使用可能となります。
- ③ “アプリケーション起動時にアイコンを記録した位置に戻す”にチェックを入れると、マルチディスプレイユーティリティを起動した際に、アイコンが記録した位置に戻ります。
※ディスプレイの増減や配置の変更がおこなわれた場合は再配置できません。

● 各ディスプレイにあるウィンドウを一箇所に集めたい

- ① 【集合】をクリックすると拡張ディスプレイ上のウィンドウがディスプレイ番号1に集まります。



- ② 【再配置】をクリックすると、集まったウィンドウが元の位置に戻ります。
※【再配置】ボタンは【記録】実行後に使用可能となります。



3 -3. その他の便利な使い方

● ウィンドウのタイトルバーを右クリックで、他の指定ディスプレイへ移動

- ① タイトルバーを右クリックするとメニューが表示されます。
- ② メニュー内の【ウィンドウを次のディスプレイへ】を選択

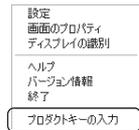


※Internet Explorerでこの機能を使用する場合のみ、【インターネットオプション】の【セキュリティ】タブをクリックし、【保護モードを有効にする】のチェックを外す必要があります。ただし、セキュリティ面でご使用のパソコンが危険にさらされるおそれがあります。

4 体験版を製品版として使用するには

体験版は15日間限定となっています。インターネット上でプロダクトキーをご購入の上登録することで、引き続き製品版として使用いただけます。

1. タスクメニューの一番下に“プロダクトキーの入力”がありますので、クリックしてください。



2. プロダクトキー入力画面が表示されます。【プロダクトキーの購入】をクリックすると、購入画面へ移動できます。購入後、発行されたプロダクトキーとユーザ名を入力し、【適用】をクリックしてください。



3. 購入完了の画面が表示されますので【OK】をクリックしてください。



以上で完了です。

5 ユーティリティのアンインストール

※本製品を削除する場合のみおこなってください。

1. Administrator(管理者)権限でログインしてください。
2. ダウンロード、もしくはCD-ROM内の“SetupMultiDisplayUtility.exe”を起動してください。



3. “削除”を選択して【次へ】をクリックし、画面の表示に従ってアンインストールを続けてください。

